

みらい通信

第20号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
URL <http://www.shiwa-mirai.com>
発行日 平成19年8月8日

探検しました！

第16回 環境探検隊 平成19年7月29日(日) 参加者 30人 生き物探しとミニ沢登り

晴れ渡る夏空の下、片寄地区の山で、第16回環境探検隊「生き物探しとミニ沢登り」を開催しました。

地元片寄の熊谷重孝さんに虫や植物、沢の歴史、山火事で焼けてしまった木のお話などをしていただきました。

子どもたちは、草むらに隠れている小さな虫やクワガタを見つけたり、木の実を食べ、沢登りにも挑戦しました。

沢を登りきったみんなに、熊谷さんや地元住民が丹精込めて作ったリングジュースやトマト、キュウリ、プラム、梅のご褒美が配られ、とてもおいしそうにかじりついていました。



キュウリおいしいな～！

沢は冷たくて気持ちが良く、暑さを忘れるほどでした。また、色んな生き物や花が咲いていて、子どもたちはたくさんの宝物を見つけることができたと思います。



さあ沢を登るぞ！



参加者の感想（抜粋）

- ・カエルとミミズとトンボとオニヤンマとクワガタとカマキリとカナブンを見つけました。沢登りでは靴や靴下、ズボンや長そでがすごくびしょぬれになったけどとても楽しかったです。
- ・冷たい沢、目にしみる濃い緑、片寄の森はとても自然が豊かで気持ちよく歩きました。季節の花もいろいろ咲いていて楽しみました。
- ・山に登ると野いちごがあっけと食べてみるとすっぱくておいしかったです。
- ・キュウリがおいしかったよ。カマキリも捕まえたよ。トマトもおいしかったよ。
- ・特に何かをとったとか何かで遊んだというのではないが、今回のようにまるまる自然の中で行動することは大切だと思う。今は農村部でも自然を知らない（体験しない）子どもたちが多いので、有意義な体験活動だったと思う。熊谷さんの話も面白かった。

作りました!

古館保育所 コネコネマイせっけん体験

平成 19 年 7 月 14 日 (土)

参加人数 : 79 人

コネコネマイせっけんでは花や動物、アニメのキャラクターなどを作り、川や海のお魚さんたちにやさしい石けんのことを楽しみながら学んでいただきました。



一緒に参加した保護者の方にも、子どもたちの作品作りをとおり、リサイクルした安全安心な石けんのこと、紫波町が進めている水環境の取り組みなどを知ってもらいました。



古館保育所に集まった園児や支援センターの親子



子どもたちの作品

コネコネマイせっけんとは・・・

子どもたちの教育用の工作用石けんです。

材料に純石けんを利用しているのは当然のことながら、さらに食用廃油のリサイクル原料を使用しています。「モノづくり」や「もったいない」というこころの教育教材としての利用にも使われています。また、高齢者の指先運動のリハビリ教材としても注目されているそうです。

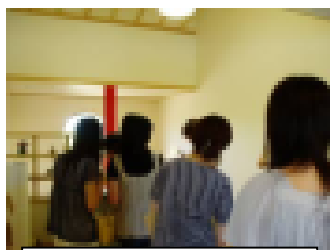
参加者の感想抜粋

- ・楽しかった、うれしかった、かわいくできてよかった。
- ・うさぎ、おにぎり、星、ハート、アンパンマン、お魚作りました。面白かったです。
- ・子どもと楽しい時間が過ごせました。楽しんで”エコ”を考えられるきっかけになってよかったです。排水に気をつけるように心がけたいと思います。
- ・貴重な体験が出来た。子どもには安全なものを使いたかったので、身近なものから変えて行きたい。

ご案内
しました!

岩手大学社会教育学部 「社会教育課題研究」

岩手大学教育学部で、紫波町が進める循環型まちづくりを題材にした「社会教育課題研究」が5月11日から始まり、7月27日に無事終了しました。



星山小学校の見学風景

受講している学生たちが、7月7日～8日にかけて一泊研修のため紫波町にやってきました。7日の夜にはラ・フランス温泉館湯楽々交流プラザで、講師や学生たち、みらい研究所との交流会が行われ、紫波町の現在や未来などについて語り合いました。

紫波町循環型 まちづくり視察研修

紫波みらい研究所では、紫波町の循環型まちづくりに関する視察・研修についての受け入れを行っています。循環型まちづくりの取り組みや、森林資源循環を目指す公共施設の木造建築、有機資源循環を行うエコ3センターなど、平成18年度は19団体の視察研修を案内させていただきました。



エコ3センターの視察風景

行ってきました!

下水道見学会

平成 19 年 7 月 20 日 (金)

共催：紫波町下水道課、紫波みらい研究所

私たちが自然と共生し、快適な生活を送るために欠かせない下水道事業。処理施設を見学し家庭から出る生活排水について考えるために開催されました。

紫波浄化センターと盛岡市中川原処理場を見学し、排水処理の様子、町内外の処理の仕方の違いを教えていただきました。また、油や生ごみなどをそのまま流してしまうと、配水管の中で固まったり腐ったりするという問題点もあるそうです。

私たちが快適な生活を送るためには、まず私たちが気をつけなければならないと改めて考える良い機会でした。



下水を入れて小さなごみや汚れたものを洗めて取り除く「最初沈殿地」



下水にバクテリアを入れて汚れを分解する「エアレーションタンク」

参加者募集!

下水道フォーラムに参加しよう!

紫波町の下水道が整備されて 20 年が経過しました。私たちが自然と共生し、快適な生活を送るためには、まず家庭などから出る生活排水を適正に処理することが必要です。生命の源である水の循環を確保し、未来の子どもたちに紫波の素晴らしい環境を残すために、下水道について考えてみましょう。

詳細は 8 月 22 日 (水) 発行のしわネットをご覧ください。

日 時 平成 19 年 9 月 9 日 (日)

午後 1 時 30 分 ~ 3 時 45 分

場 所 N A C S (盛岡南ショッピングセンター)

主 催 紫波町

協 力 紫波みらい研究所、環境マイスター紫波、
ごみ減量女性会議、農業集落排水施設管理組合、町内排水設備工事指定店、浄化センター管理委託事業者

対 象 一般町民、協力団体関係者



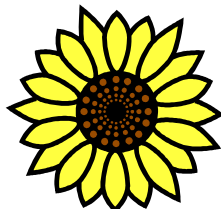
日詰18区・19区子ども会工作展示

展示期間：7 月 27 日 (金) ~ 8 月 3 日

日詰 18 区・19 区の子どもたちが作ったうちわの展示を環境・循環 P R センターで行いました。

ひよこやひまわり、てんとう虫などのモチーフを和紙の切り絵にしてうちわに貼ったものです。

ひよこの表情やクワガタを加えるなど、一人ひとりの個性豊かな可愛らしい作品でした。



見に来た親子連れ

参加しました！ こども夏エコ祭

平成 19 年 8 月 5 日（日）

主催：紫波町循環政策課

場所：紫波運動公園

町内の各団体が集まり、子どもたちと一緒にうちわや星座表づくり、ぬり絵、ペーパークラフトなどを楽しみました。

紫波みらい研究所ではコネコネマイ石けんづくりと、安全安心な石けん水と砂糖、紅茶を混ぜたシャボン玉を行いました。



何を作ろうかな～



麦わらでシャボン玉飛ばそー！

参加者の感想（抜粋）

- ・油からできた石けんなのに臭くないし、手がすべすべしてすごいと思った。
- ・食べた後の油は捨てないようにしたいし、石けん作りはいろいろできて楽しかったです。
- ・使い捨ての時代にリサイクルの方法を小さい子どものうちから伝えられるといいと思います。

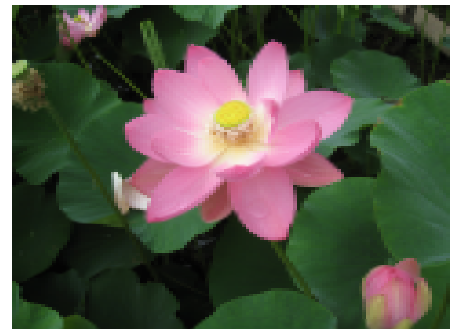
夏の花



PRセンターのあさがお



中央駅のひまわり



五郎沼のハス

他団体活動紹介

紫波町指定文化財「武田家住宅」は、紫波町に残る築後260余年の南部曲り家です。

平成15年から続けてきました茅葺屋根の葺き替え作業が今年で終了します。このため、今後30余年は、紫波町内で茅葺屋根の葺き替え作業を見る事はできなくなることでしょう。

この最後の葺き替え作業の見学と「武田家住宅」と触れ合うことを目的とした「武田家住宅」開放デーを昨年に引き続き開催することと致しました。

当日は、職人さんによる作業の説明を聞きながら、葺き替え作業の現場を間近に見学することができます。

問合せ 武田家住宅を守る会事務局 鷹木
019-673-6483

PRセンター夏季休業

8月13日（月）～15日（水）

環境・循環PRセンターは休業とさせていただきます。ご了承ください。

紫波みらい研究所定例会

今回の定例会は9月12日（水）です。

会員が交流しながら、楽しみ・学ぶ時間を設けたいと考えています。

地元の食や歴史のことなど、要望があったら教えてください。